

愛媛産業保健総合支援センター
両立支援だより
 2021年度 第1号



1. ご挨拶

日頃は、当センターの治療と仕事の両立支援事業に格別のご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。この度、愛媛県内の病院や事業場による両立支援に関する取組など、様々な情報をご提供できればと思い、両立支援だよりを作成致しました。
 愛媛さんぽセンターでは県内の病院に相談窓口を設置しております。多くの患者様から「仕事について相談できる場所があるだけで安心した」というお声を頂いております。今後とも、より多くの患者様が、安心して治療と仕事を両立できる社会を目指して支援し続けていきますので、宜しくお願い致します。



2. 両立支援 ガイドライン・マニュアルが改訂されました！

7月～ご準備でき次第
 各病院へ発送致します

「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」では、「治療と仕事の両立に関する支援制度・機関」が改訂されました。「企業・医療機関連携マニュアル」では、事例編として心疾患と糖尿病が加わりました。
 企業や労働者の方は、医療に関する知識が乏しい場合が多く、復職プランを作成するためには、医療関係者による具体的で分かりやすい説明が必要です。マニュアルを活用して、企業や患者と積極的に情報共有をしていきましょう。



3. 両立支援コーディネーター研修のご報告・お知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン形式で実施され、愛媛県では**計74名**の方にご参加頂きました。ありがとうございました。

また令和3年度のコーディネーター研修の日程が決定致しました。申込みは先着順ではなく、抽選となります。詳細については、労働者健康安全機構のホームページをご確認下さい。

令和2年度愛媛県内全受講者数 (計74名)

- 病院関係者 (計37名) . . .**
- MSW 22名
 - 看護師 11名
 - 理学療法士 2名
 - 医師 1名
 - その他 1名
- 企業関係者 (計33名) . . .**
- 労務管理者 15名
 - キャリアコンサルタント 4名
 - 看護師・保健師 7名
 - その他 4名
- 社労士事務所 (計4件) . . .**
- 社労士 4名

令和3年度両立支援コーディネーター研修 日程

開催回	定員	動画配信研修 受講期間	WEBライブ 講習受講日	募集期間
第1回	500名	8月10日 ～8月23日	8月26日(木)	7月13日 ～ 7月26日
第2回	500名	9月1日 ～9月14日	9月17日(金)	
第3回	500名	9月20日 ～10月3日	10月6日(水)	8月24日 ～ 9月6日
第4回	500名	10月8日 ～10月21日	10月26日(火)	

両立支援カードのご案内

愛媛さんぽセンターでは、両立支援カードを患者様や労働者の方に配布しています。両立支援は患者や労働者からの申し出から始まります。「相談する」ことは大変勇気がいります。ぜひこのカードを渡して相談窓口へのハードルを超えるよう後押ししてあげてください。両立支援カードが必要な方は当センター担当者までご連絡下さい！



愛媛さんぽセンターで治療と仕事の両立支援を担当しています。相談対応やセミナーの開催など様々なご要望にお応えします。何卒宜しくお願い致します。

担当者 産業保健専門職 福田
 Tel : 089-915-1911
 Mail : sangyou-senmon@ehimes.johas.go.jp



四国がんセンターさんに両立支援の取り組み をご紹介します！



1. はじめに

当院では、がん患者さんの「働きたい！」という思いを支えるために、2017年に「就労支援チーム」を発足し、両立支援の活動を行っています。就労支援チームは、医師・看護師・医療ソーシャルワーカー・事務員で構成され、活動内容や対応事例の共有、支援方法の検討、就労支援に関する情報発信を行っています。

就労支援チームの目標は、①就労支援の在り方を検討し支援方法をシステム化する。②がん患者・家族に向けた知識の普及・情報発信を行う。③県内の医療機関に向けた情報発信・対応事例の検討を行う。④企業に向けた知識の普及・情報発信を行うことです。また、ハローワーク松山や愛媛産業保健総合支援センターと連携し、出張就職・就労相談も実施しています。

〈就労支援定期ミーティングの様子〉



2. 両立支援

がん相談支援センターの医療ソーシャルワーカーが中心に支援を行っています。早期から介入できるように入院前から様々な部署と情報共有を行っています。

まずは、「仕事に関する悩みや不安をよく聞く」ことを心掛け、リーフレットを使用し、両立支援についての目的や流れを説明します。そして、治療経過、症状を確認し、両立支援の希望に応じて主治医と指導内容を共有しながら診断書を作成します。また、診察に同席したり、復職後も継続的に支援を行っています。

がん相談支援センターで対応した就労相談は、2018年度124件、2019年度229件、2020年度496件と増加し、それに伴い療養・就労両立支援指導料の算定件数も、2018年度2件、2019年度5件、2020年度35件の実績につながりました。

〈当院で作成したリーフレット〉

あなたらしく働くために

～治療と仕事の両立支援～

治療と働き方について一緒に考えていきましょう～

治療と仕事の両立支援とは？

患者さんが安心して病気の治療を受けながら働けるように、四国がんセンターと職場が情報を共有し、患者さんの同意のもと、職場復帰計画や治療計画について検討します。

両立支援には次のようなメリットがあります。

- ・就業状況に合わせた治療計画を主治医に相談しやすくなります。
- ・患者さんと職場の双方で復職までのイメージがしやすくなります。
- ・制度を活用した企業にもメリットがあります。

〈両立支援の流れ〉

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4
働き続けたいという思いを伝えましょう！	勤務情報提供書 ^{※1} を作成しましょう。	主治医に診断書を書いてもらいましょう。	職場と相談しましょう。
<input type="checkbox"/> 職場に治療と仕事の両立を希望し、両立支援を申し出ましょう。 <input type="checkbox"/> 「治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」をご活用ください。	<input type="checkbox"/> 就業について相談するため、主治医はあなたの仕事内容を把握する必要があります。 <input type="checkbox"/> 職場担当者や勤務情報提供書を作成しましょう。 <input type="checkbox"/> 作成できたら、がん相談支援センター ^{※2} に持参(または郵送)してください。	<input type="checkbox"/> 主治医と相談員が連携しながら、職場あての診断書を作成します。 <input type="checkbox"/> 診断書には、あなたが働きたいよう職場の形態や、注意事項などを記載します。	<input type="checkbox"/> 職場に診断書を提出しましょう。 <input type="checkbox"/> 診断書をもとに職場と働き方について話し合いましょう。 ^{※3}

治療を受けながら、仕事を続けましょう！

四国がんセンター 2020年6月改定

3. 出張就職・就労相談

- * 就職相談：ハローワーク松山の就職支援ナビゲーターが対応
- * 就労相談：愛媛産業保健総合支援センターの両立支援促進員が対応

出張相談は、就職支援ナビゲーターや両立支援促進員が相談対応します。調整役として患者・家族総合支援センター（暖だん）の看護師が担当し、予約調整、医療の知識（治療による副作用や経過など）の補足、必要に応じて外見ケアの情報提供を行います。両立支援に関わるすべてのスタッフの連携が円滑に進むように、コミュニケーションを大切にしています。

4. 周知活動

- * チラシを作成し、院内の掲示板に掲示し、自由に持ち帰れるように配架している。
- * 卓上の案内板や両立支援カードを外来診察室、入院受付等のカウンター、食堂などに設置している。
- * 就労支援に関する勉強会（一般企業・患者・職員向けなど）を実施している。



5. おわりに

今後も愛媛県がん診療連携拠点病院として、患者さん・ご家族、医療従事者、さらに企業側にも「病院に仕事の支援体制」があることを広め、いつでも相談できる場所がある事を伝えていきます。そして、治療と仕事が両立できる社会になるように活動して参ります。

